

事業所名

児童発達支援事業所 シンパシー推迫

支援プログラム

作成日 令和 7 年 3 月 3 日

法人理念	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自分の感情をありのままに表現できる、エンパシーし合える世の中を作る。 ・全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に人類、社会の進歩発展に貢献すること。 		
支援方針	<p>お子さんそれぞれの得意なことを活かし、たくさん「自信」をつけ、自己肯定感を高められる場所となれるように一人ひとりと関わります。子どもが集中できるように無理のない時間でプログラムを組みます。小集団での活動を通して、自信をつける体験がたくさんできるようにサービスを提供します。・他の療育施設、保育・教育機関との連携を大切にします。</p>		
営業時間	月～金	①9：30 ～ 11：10	②13：00 ～ 14：40
			送迎の実施
			有 (保育園、幼稚園等への送迎可)
本人支援	健康・生活	<p>友達との関わりを楽しめるよう、職員が援助しお子さんが安心してすごせる場所を提供します。お子さんが集中して取り組めるように別室にて個別トレーニングをおこないます。ホワイトボードを使い、スケジュールの確認等の予定をわかりやすく伝えます。衛生面や排せつ等の生活に必要な力を獲得できるように支援をおこないます。</p>	
	運動・感覚	<p>机上活動や身体を動かす活動、自由遊びの時間を設けます。姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の発達につながるように、好きな遊びをおこないながら、専門職員が関り動作の改善や獲得ができるように支援をおこないます。</p>	
	認知・行動	<p>活動の始まりや終わり、トイレタイム等では、事前に伝えたりタイマー等を用いて見通し立てながら過ごせるように支援をおこない、気持ちの切り替えや場面の切り替わり等の不安が減るように関りを持ちます。</p>	
	言語・コミュニケーション	<p>自分の気持ちを伝える力や困りができた際に周囲に頼れる等、生活をしていく中で自身が大切に感じる部分を適切に表出できるように支援をします。特徴や特性、本人の気持ちに寄り添いながら、必要に応じて絵カードやジェスチャー等を使いコミュニケーションスキルが身につくように支援をおこないます。子ども一人ひとりの気持ちの聞き取りをおこない、自分の気持ちを伝えることができる場所としてサービスを提供します。</p>	
	人間関係・社会性	<p>子ども達が自発的に興味のあること・やってみたいことに挑戦できる環境を整えます。小集団での活動の時間を通して、順番やルール、友達と協力する、自分の気持ちを相手に伝える等、他者と一緒に生活をしていくために必要な経験やスキルを身につける機会を提供します。</p>	
家族支援	<p>定期的な保護者面談を実施し、一緒に成長や課題に対して取り組んでいきます。また、困りごとができた際には、管理者や児童発達支援管理責任者、専門職員に相談できる環境を整えます。</p>		
地域支援・地域連携	<p>お子さんの通っている、保育・教育機関及び発達支援事業所と情報共有やケース検討のための会議の開催をおこない連携を図ります。定期的に地域の方と交流ができるイベントの開催をおこないます。</p>		
移行支援	<p>保育園・幼稚園等からの小学校入学時等に、必要に応じて担当教員等とお子さんの特性や特徴等の情報共有をおこないます。保護者へ移行先の情報提供をおこないます。</p>		
職員の質の向上	<p>毎月全職員で研修をおこない、支援に対する理解を深めたり、法人の特色でもある「アドボケイト」について学んでいます。また、個別のケース会議を毎月おこない、お子さんへの支援方針に関する情報の共有を職員間でおこないます。</p>		
主な行事等	<p>季節に応じた活動、法人の開催するイベント、避難訓練（地震・火災・水害等）</p>		